



Flash News

三重大学

第56号

目次

- 「第2回産学官連携セミナー2007 in伊賀」
- 「知的財産活用シンポジウム
～知的財産を活用できる人材の育成方法～」
- 「第1回三重大学・鈴鹿医療科学大学連携協議会」を開催
- 「合唱団」学長表彰
- 「グレート・ナガ・イニシアティブ・ピクニクスセミナー-in津2008」

- 「附属小学校第34次公開研究会」を開催
- 2007年度後期PBLセミナー発表会「PBLカフェ」
(展示会「実践!学芸員への道」)を開催
- 「三重大学アカデミックフェア2008」を開催
- 「フィンランドの創造性教育」に関する講演会を開催
- 「第2回 フォーラム in 一身田」を開催

お知らせ & ご報告

- 広報チームから
- 高等教育創造開発センターから
- 国際交流センターから

「第2回産学官連携セミナー2007 in伊賀」

2月8日、本学が伊賀に研究拠点を開設するにあたり、その設立の理解を深めていただくための標記セミナーが伊賀市のウエルサンピアにおいて開催されました。基調講演に本学生物資源学研究所から船岡正光教授「森林から化学工業へ～新しい持続的工業ネットワーク～」と大原興太郎教授「持続可能な地域を考える～地域活性化の視点と未来への橋渡し～」が発表を行い、その後、同研究所の前田広人教授から伊賀研究拠点で予定されている活動内容についての具体的な説明がありました。市、地元企業など120名の出席があり、有意義なセミナーとなりました。

「知的財産活用シンポジウム～知的財産を活用できる人材の育成方法～」

2月14日、医学部臨床第3講義室において、標記シンポジウム（三重大学、(財)三重県産業支援センター、三重県主催、(独)科学技術振興機構、JSTイノベーションプラザ東海、(株)三重ティーエールオー共催、特許庁、中部経済産業局、(社)日本知財学会後援)が開催され、産学官から110名の出席がありました。基調講演（「知財人材育成における我が国の取り組みについて～中小企業活性化等のために～」 特許庁総務部企画調整課知的財産活用企画調整官 瀧内健夫氏、「産学官連携による地域の時代を担う若者の育成」八戸工業高等専門学校校長 井口泰孝氏）に次いで、県内企業、三重県、大学からの5名のパネリストによる事例報告および討論が行われました。活発な議論に、出席者も熱心に聞き入っていました。

「第1回三重大学・鈴鹿医療科学大学連携協議会」を開催



2月19日、標記協議会が、本学学長室において開催され今後の連携について協議されました。これは、昨年6月に締結した本学と鈴鹿医療科学大学との包括的連携に関する協定に基づき設置されたもので、単位互換、学生実習の相互受入と大学院の相互研究指導などの教育に関する連携、共同研究の推進や研究機器の相互利用などの研究に関する連携、その他地域貢献および大学管理運営での連携ならびに各種支援事業への共同申請などについて積極的な意見交換が行われ、有意義な協議会となりました。今後、これらの連携の細部について担当理事らで検討していく予定です。

「合唱団」学長表彰

本学合唱団は、全日本合唱連盟主催の「全日本合唱コンクール中部支部大会」において金賞を受賞し、「第60回全日本合唱コンクール全国大会」（全国各支部より11大学が会場）へ中部支部代表として出場しました。26年ぶりという全国大会の舞台に38人の混成合唱団で臨み、自由曲では隠れキリシタンをテーマにした曲を取り上げ、歌声で「祈り」を表現し、見事銀賞を受賞しました。この栄誉を讃え、2月20日に学長表彰が行われました。



「グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ・ユビキタスセミナーin津2008」

2月1日、講堂において、標記セミナー（主催：グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）、日本貿易振興機構（JETRO）三重貿易情報センター）が開催されました。これは、三重大学と地元津市のIT企業による産学連携プロジェクトであるセンサネットワーク事業を地域発の国際プロジェクトへと展開し、実用化に向けて各国連携によるユビキタス産業アライアンスの形成を図るとともに対日投資促進を目指すものです。今回のセミナーは、昨年からのスタートした「食・農・環境・教育の課題解決に向けたセンサネットワーク」の最新の取り組みを国内の研究者が説明した後、アメリカ、スウェーデン、スイスの企業が海外での応用事例を紹介しました。

「附属小学校第34次公開研究会」を開催

2月9日、附属小学校において、標記の公開研究会が開催されました。午前中は、実際の授業を自由に見学できる「公開授業」や研究発表（全体提案：子どもがつながることでさらに確かなる学び～探究と対話による授業の再構築を目指して～）と子どもたちの合唱が披露されました。また、午後からは教科別の研究討議と、詩人の谷川俊太郎さんとご子息で音楽家の谷川賢作さんを迎え『子どもがつながることでさらに確かなる学び』をテーマにした公演が開催されました。会場の体育館は1,100名を超す参加者の熱気であふれていました。



2007年度後期PBLセミナー発表会「PBLカフェ」(展示会「実践！学芸員への道」)を開催



2月12日～20日、三翠会館において、展示会「実践！学芸員への道」が開催されました。これは、「共通教育PBLセミナー」の公開発表会として行われたもので、「平安貴族の表と裏／十二単に隠された真実～女房は見た～」 「新・桃太郎伝説～あなたの知らない桃太郎～」という2班の取組が紹介されました。会場には、十二単（齋宮歴史博物館所蔵）や鬼瓦（亀山市教育委員会所蔵）等の実物展示の他、学生が作成した説明図などが掲示され、未来の学芸員を目指す学生たちが見学者一人ひとりに資料を手渡し、丁寧に展示解説を行っていました。

「三重大学アカデミックフェア2008」を開催

2月16日、人文学部校舎10会場において、標記発表会が開催されました。2004年より毎年開催されてきた「法則フェスタ」が、2007年より「アカデミックフェア」として三重大学における能動的学習、PBL教育、研究などの成果を社会に公開する全学的イベントとなりました。24のポスターセッションと43の口頭発表が行われ、150名の学生、教員、市民が集い、活発な議論が繰り広げられました。



「フィンランドの創造性教育」に関する講演会を開催

2月23日、附属学校園内施設「ひまわりの家」において、標記セミナー講演会が開催されました。これは、初等中等段階における知財教育に関する特許庁からの受託研究の一環として行われたもので、講演会では、フィンランドから技術教育に長く携わってこられたTapani Kananoja氏を招き講演していただきました。講演会後のラウンドテーブルでは大学関係者、附属学校園関係者、近隣の学校関係者、大学生を交えて熱心な議論が展開されました。



「第2回フォーラム in 一身田」を開催

2月27日、現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）の平成19年度事業に関する標記セミナーが講堂で開催されました。フォーラムでは、一身田校区の幼・小・中学校で学生たちが行なった様々な活動報告や取り組みに関する成果と課題を明らかにするパネル・ディスカッションがありました。引き続き、福井大学教育地域科学部の黒木哲徳学部長による「大学と学校・地域の連携はどうあるべきか」の講演が行われ、100名を超える参加者のもと、盛会のうちに終了しました。



お知らせ&ご報告

広報チームからー

《情報化シンポジウム・イン・三重》

開催日：3月7日 13：00～17：00 開催場所：メディアホール 参加者：一般・学生・近隣自治体の方々
詳しくは、<http://www.mie-u.ac.jp/news/pdf/JouhoukaSymposium.pdf> をご覧下さい。

《個人情報保護研修会》

開催日：3月14日 15：00～17：00 開催場所：メディアホール 参加者：教職員

高等教育創造開発センターからー

《平成19年度三重大学PBL教育シンポジウム「PBL教育の実践と効果」》

開催日：3月7日 13：00～17：45 開催場所：医学部先端医学研究棟B棟（基礎校舎棟）3F 多目的室 参加者：教職員
詳しくは、<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/newspdf/symp080307.pdf> をご覧下さい。

国際交流センターからー

《三重大学国際交流セミナー》

開催日：3月10日 15：00～16：30 開催場所：メディアホール 参加者：教職員
詳しくは、<http://www.cie.mie-u.ac.jp/edupdf/new/seminar.pdf> をご覧下さい。

